NS 300FM

ファインメット®搭載
300B 無帰還シングル
ステレオ・パワーアンプ

取扱説明書

～ 目　次 ～

安全にご使用いただくために	3
各部の名称	4
アンプをオーディオ・システムに接続するには	6
電源コード	6
入力コード	6
スピーカー・コード	6
リモコン信号の接続ケーブル	6
アンプの使用方法	7
電源を入れるには	7
電源を切るには	7
Tube Tone Mixing つまみの使い方	7
真空管を交換するには	8
ケースの上側カバーを取り外す	8
真空管を交換する	8

アンプの仕様一覧

- 最大出力： 10W（8Ω、1KHz、THD=10%）
  ※スピーカー１台でステレオ音場を再生する「１スピーカー方式」を採用。
- 出力インピーダンス： ４Ω、６Ω、８Ω、１６Ω
- 使用真空管： 6SN7（ロシア製Tung-Sol） ２本、300B ２本（標準使用ブランドはロシア製electro-harmonixとスロバキア製JJを１本ずつ）
- 周波数特性： 25Hz～28KHz（8Ω、出力１W時、－3dB）
- 歪率（8Ω、1KHz、出力１W時）： 0.1%
- 残留ノイズ： 0.5mV（JIS-A補正）
- サイズ： 幅30cm、奥行き28cm（突起部を除く）、高さ21.7cm
- 重量： 8.5Kg
- 消費電力： 100W

2009/10/5

安全にご使用いただくために

- アンプの性能を長期間にわたって維持し、故障や事故を防ぐために、極端に温度の高い場所、極端に温度の低い場所、あるいは湿気の多い場所では使用しないでください。
- 水やお茶などの液体をこぼしてアンプ本体が濡れた場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、アンプの使用を中止してください。その後、アンプの点検・修理をNS工房に依頼してください。
- アンプ内部には約500Vという高電圧の掛かっている箇所があります。アンプの動作中やアンプの動作直後にケースのカバーを開けてアンプ内部に触れると、感電して重傷を負ったり、心臓に重大な危害が及んだりする恐れがあります。真空管を交換するなどの必要時以外には、アンプケースのカバーは絶対に取り外さないでください。
- 必要があって真空管を取り替える際は、必ずアンプの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜き、真空管の温度が十分に下がってから厚手の軍手などを装着して作業してください。

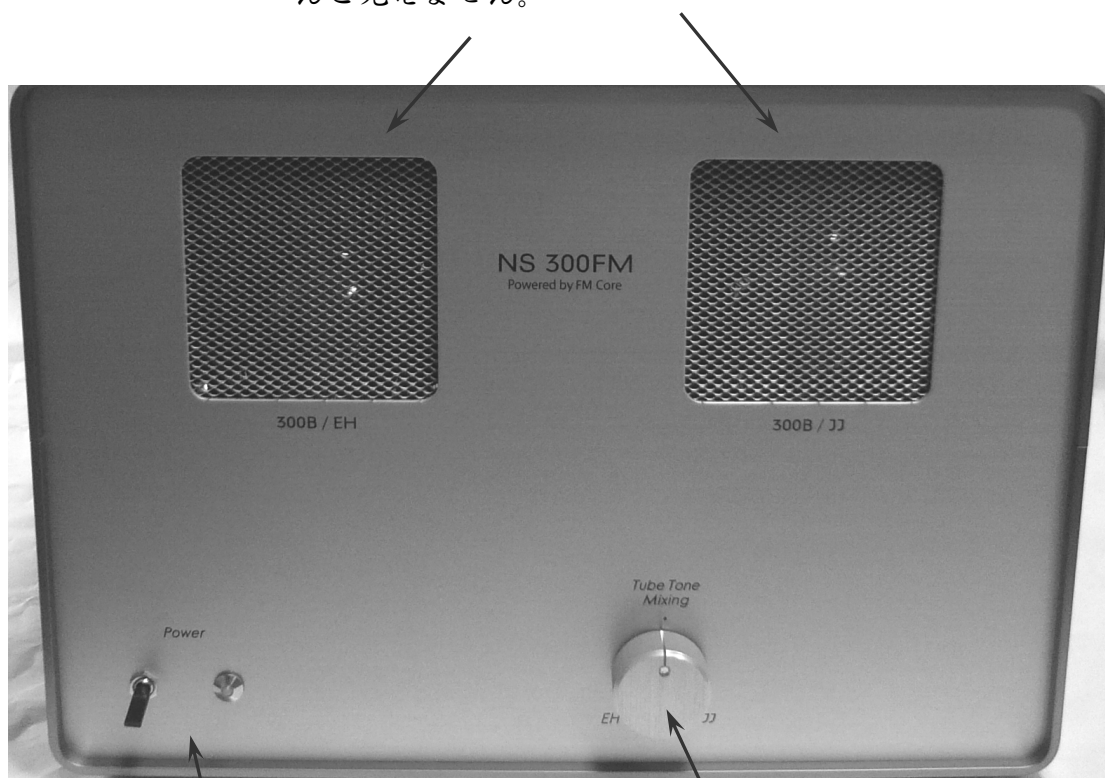
このパワーアンプは「１スピーカー方式」を採用しています。入力されたステレオL/R信号を、初段増幅の後でミキシングし、その「L+R」信号を“EH”と“JJ”という２種類のブランドの300Bを搭載した出力段でそれぞれ増幅し、その2チャンネルの最終出力を合成して１組のスピーカー端子に出力します。

接続するスピーカーは２ウェイ以上のタイプ（高域特性が50KHz以上まで伸びているものがベスト）をお奨めします（フルレンジ・タイプのスピーカーではアンプの音質や表現力が十分に発揮されないことがあります）。

このパワーアンプの性能をフルに発揮させるため、NS回路を搭載した機器を併用することをお奨めします。

※「ファインメット®」は、日立金属㈱ の登録商標です。

各部の名称

排気窓
背面の吸気ファンから取り込んだ空気が排出されます。前面を布などで覆わないようにご注意ください。出力管300Bのフィラメントは暗いため、明かりはほとんど見えません。

電源スイッチ
ランプは緑色

Tube Tone Mixingつまみ
真空管ブランド音色ミキシング調整つまみ

EHブランドとJJブランドの300Bをミキシングする度合いを調整します。詳しい使い方は９ページを参照。

スピーカー端子 と 切替えスイッチ
接続するスピーカーのインピーダンスに合わせて切り替えスイッチを設定してください。

リモコン信号の接続端子
プリアンプ「NS preFM」のリモコン信号をステレオミニプラグのケーブルで接続します

入力端子
詳細は８ページを参照

電源コード用３Ｐインレット
日本のAC 100V**専用**です。
詳細は８ページを参照

吸気ファン（ケース内部の冷却用）
設置の際は、この部分から充分に空気が入るようにするため、障害物がないようにご注意ください。

アンプをオーディオ・システムに接続するには

電源コード

背面パネルの３Ｐインレットに電源コードを差し込み、電源プラグを家庭用の電源コンセントに差し込みます。このアンプは日本のＡＣ１００Ｖ電源専用です。それより高い電圧の電源に接続すると、アンプ内部のパーツや真空管のヒーターなどを破損する恐れがありますので、ご注意ください。

入力コード

プリアンプ等のライン出力をＲＣＡラインコードで背面パネルの入力端子に接続します。白色マークのある入力端子に左（L）チャンネル、赤色マークのある入力端子に右（R）チャンネルを接続してください。

スピーカー・コード

スピーカー・コードのマイナス側を黒色マークの「－」端子に、プラス側を赤色マークの「＋」端子に接続してください。

また、接続したスピーカーのインピーダンスに合わせて、切換えスイッチを4Ω、6Ω、8Ω、16Ωのいずれかに設定してください。

なお、このパワーアンプに接続するスピーカーは１台だけです。パワーアンプに入力したステレオ信号が１組のスピーカー端子にミキシング出力されますので、スピーカー１台でも立体的な音場を聴き取ることができ、一般的なステレオ装置より透明感度が高く濁りのない響きで音楽を堪能できます。

リモコン信号の接続ケーブル

プリアンプとして「NS preFM」を使用する場合は、プリアンプ背面にあるパワーアンプ用のリモコン信号出力端子と、このパワーアンプの「RC Connect」端子を、両端ステレオミニプラグのケーブルで接続してください。

これで、リモコンで「Tube Tone Mixing」つまみを調整できるようになります。通常のボタン設定では「10チャンネル」ボタンを押すとつまみがEH側に回転し、「12チャンネル」ボタンを押すとJJ側に回転します。

アンプの使用方法

電源を入れるには

アンプの前面左側にある「Power」スイッチを上側に倒して電源オンにします。15秒ほどで音が出るようになります。

電源を切るには

「Power」スイッチを下側に倒して電源オフにします。

Tube Tone Mixing つまみの使い方

「Tube Tone Mixing（真空管ブランド音色ミキシング）」調整つまみは、他製品にない、このアンプに独特の機能です。このつまみを回したときの音質や音色の変化を聴き取りにくい場合がありますが、お好みに合わせてご利用ください。

通常はセンター位置でお使いください。

EH側に回すと、ロシア製electro-harmonixブランド300Bの音色のミキシング量が多くなります。音質の変化は音楽ソースによって異なりますが、一般的には、低域の力感が増します。

JJ側に回すと、スロバキア製JJブランド300Bの音色のミキシング量が多くなります。一般的には、高域の透明度や、音楽全体の響きのリアリティが増します。

プリアンプとして「NS preFM」を使用する場合は、プリアンプとパワーアンプのリモコン信号を接続することにより（6ページを参照）、このつまみをリモコンで調整できるようになります。プリアンプに標準添付のSONY製テレビ用万能リモコンでは、ボタンを１回押した時につまみが一定量だけ回転して停止します。これは、リモコン本体の仕様による制限ですので、ご了承ください。やや使いにくいですが、通常はボタンを何回か連続して押すことになります。

真空管を交換するには

真空管の取り扱いに不慣れなお客様は、パワーアンプをNS工房までお送りいただければ、真空管代金のみ頂戴して（作業量は無料で）真空管をお取替えいたします。

もしお客様ご自身で作業する場合は、次の手順で真空管を交換してください。

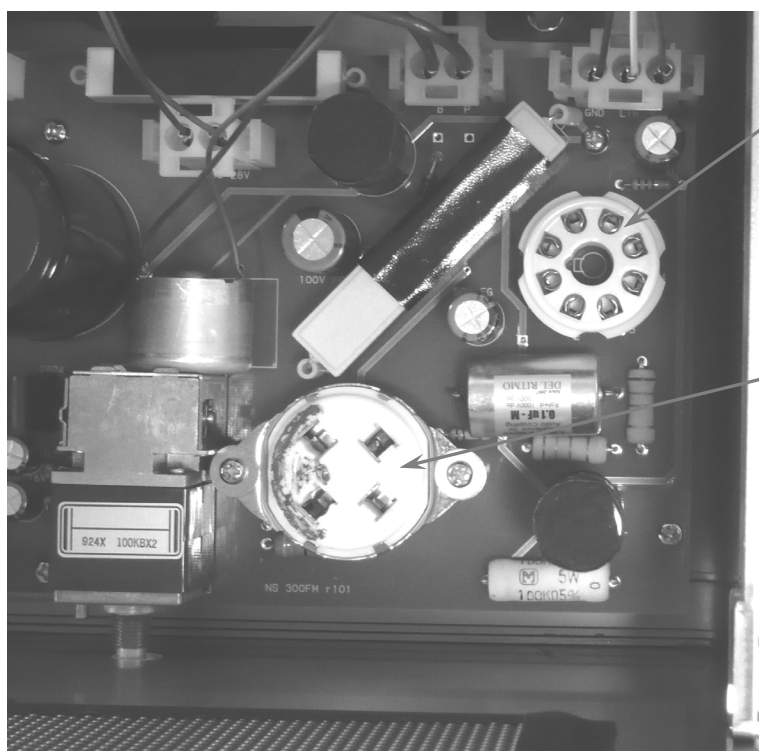
ケースの上側カバーを取り外す

① パワーアンプの電源を切り、電源コードを取り外します。ケース内部や真空管の温度が充分に下がってから、この後の手順を実行してください。

② パワーアンプ本体の側面にある黒ネジのうち、各面について上側の２つだけをプラスドライバーで取り外します。取り外したネジは、紛失しないように保管してください。

③ ケースの上側カバーを真上に持ち上げるようにして取り外します。このとき、少し強く力を掛ける必要があるかもしれません。取り外すとき、カバーの端部で指などをケガしないようにご注意ください。

真空管を交換する

④ 古い真空管を取り外し、新しい真空管を装着します。
このとき、真空管を差し込む方向に注意してください（下図参照）。

6SN7GT
真空管ベース部中央の突起をケースの内側に向けて差し込みます。

300B
真空管のピン４本のうち太いピン２本（フィラメントのピン）をケースの内側に向けて差し込みます。
太いピン２本を挿す位置に赤色のマーカーで印を付けてあります。

⑤ ケースの上側カバーを取り付けて、ネジ止めします。カバーを取り付けるときは、前面パネルとカバーの溝を位置合わせし、下側に滑らせるようにしてください。このとき、パネルの端部で指などをケガしないようにご注意ください。

製品の保証と修理について

製品本体（真空管を除く）の保証期間は、製品をNS工房から出荷した日を起点として３年間とします。

出荷日：　　　　　年　　月　　日

製品の動作に不具合がある場合は、不具合の内容をメール、FAX、電話などでNS工房までご連絡ください。

もし製品の故障と判断される場合には、製品をNS工房まで宅配便などで返送していただき、NS工房で点検・修理を行ないます。恐れ入りますが、返送時の送料はお客様のご負担とさせていただきます。

保証期間内の故障で、故障の原因がお客様の責任でない場合には、無料で修理いたします。

保証期間外の故障の場合には、点検・修理に関する手数料と交換パーツ代をお客様にご負担いただきます。

予備用/交換用の真空管を購入希望のお客様は、NS工房までご連絡ください。

製造元・連絡先：
〒２４７－００７３
神奈川県 鎌倉市 植木 ６６－１　コープ鎌倉 ５１３
ＴＥＬ/ＦＡＸ：　０４６７－４４－７７１２
Email: ns_kobo@nifty.com
URL: http://homepage2.nifty.com/tnatori/NS/
NS工房　名取 俊忠